

冬もご注意!

🏠 感染症のオンシーズン

感染症予防の徹底を続けましょう

新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）の感染拡大で、私たちの暮らしの中に感染症予防がすっかり定着してきました。毎年、空気が乾燥する冬の時期は、インフルエンザをはじめ、ノロウイルスなどの感染性胃腸炎等、新型コロナ以外の感染症も流行します。ウイルスによる感染症の予防法は、新型コロナと基本は同じですから、気を抜かず、このまま続けていきましょう。

新型コロナ予防のための「新しい生活様式」

- まめな手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- 小まめに換気
- 身体的距離の確保
- 3密（密集・密接・密閉）の回避
- 健康管理
(発熱や風邪の症状がある場合は無理せず自宅で療養)



プラスしたい感染症予防

●インフルエンザは早めの予防接種を!

インフルエンザは新型コロナと初期症状が似ています。そのため、ワクチンを接種すれば、症状が出た場合インフルエンザの可能性が低くなるため、新型コロナを見つけやすくなります。早めの接種をお勧めします。



●ノロウイルスは調理に注意! 十分に加熱を

ノロウイルスへの感染は、人からの他に、カキをはじめ、アサリやホタテ貝などの二枚貝を食べることで起こります。ノロウイルスが活性化する冬には二枚貝はもちろん、生食はできるだけ避け、中心部まで十分に加熱して食べるようにしましょう。



感染症予防徹底の成果?

🏠 インフルエンザ患者数が昨シーズンは激減!!

昨シーズン（2019～2020年）に全国でインフルエンザにかかった患者数は推計約729万人で、その前シーズン（2018～2019年）の約6割だったことが国立感染症研究所のまとめで分かりました。

新型コロナ感染予防の影響とみられていますが、今シーズンもみんなで徹底して予防に取り組み、感染症をシャットアウトしたいですね。

インフルエンザ患者数(全国推計)

